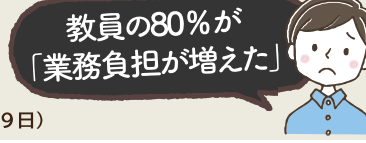


新型コロナ：労働実態・教育研究状況アンケート結果



遠隔による教育研究業務や在宅勤務の体制整備、学内における感染防止対策が急務



教員の80%が「業務負担が増えた」

(実施期間：2020年6月17日～9月9日)

全大教では、現在の新型コロナ対応下や今後の教育研究活動にあたっての労働条件・教育研究環境の改善を目的としたアンケートを実施。教員から約1174人、事務職員・技術職員から643人の回答がありました。

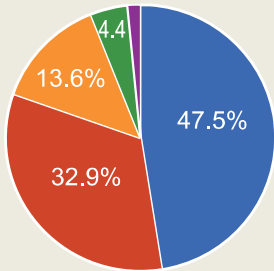
新型コロナ対応下での業務負担については、教員の約80%が「増えた」と回答しており、その理由として遠隔授業への対応が多く挙げられています。事務職員・技術職員は増えた「変わらない」「減った」が三分の一ずつとなっており、新型コロナ対応による業務増がある一方で、業務量が変わらないや減ったとする回答の理由としては、業務によっては在宅での対応が難しく、そうした業務の延期などを余儀なくされたことが挙げられています。

今後の課題としては、遠隔による教育研究業務や在宅勤務の体制整備、学内における感染拡大防止策の回答が多く、今後の教育研究環境の充実にむけた対策が急務であると同時に、それに伴う教職員の負担の緩和が必要と考えられます。

教 員

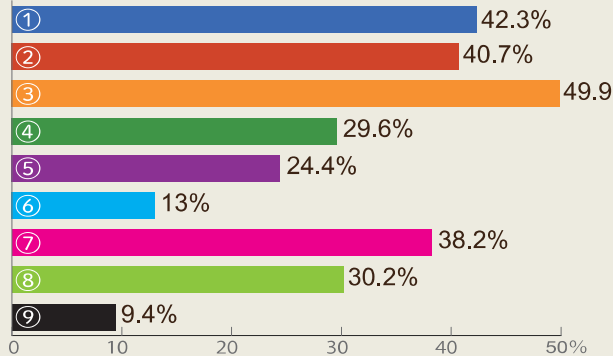
Q. 新型コロナ対応下での業務負担

- ① かなり増えた
- ② やや増えた
- ③ 変わらない
- ④ やや減った
- ⑤ かなり減った



Q. 新型コロナの感染拡大を防止しつつ教育研究体制の充実を進めるための課題について伺います。[3つまで回答可]

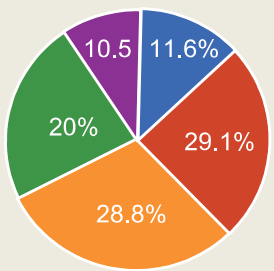
- ① 学内における遠隔業務体制のための機器や通信環境の整備
- ② 家庭内における遠隔業務体制のための機器や通信環境の整備
- ③ 対面での教育研究のための学内のスペース確保や感染拡大防止設備の整備
- ④ ソーシャルディスタンスに配慮した少人数での授業の実施
- ⑤ ソーシャルディスタンスに配慮した教育研究のための教職員の増
- ⑥ 在宅勤務における教職員の健康確保方法の整備
- ⑦ 適切な手当の支給
- ⑧ 法人全体の経常的な経費の増
- ⑨ その他



事務職員、技術職員

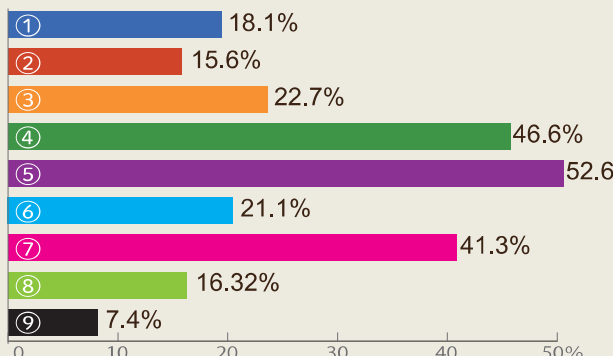
Q. 新型コロナ対応下での業務負担

- ① かなり増えた
- ② やや増えた
- ③ 変わらない
- ④ やや減った
- ⑤ かなり減った



Q. 新型コロナの感染拡大を防止しつつスムーズな業務の為の課題について伺います。[3つまで回答可]

- ① 在宅勤務における超過勤務申請方法の整備
- ② 在宅勤務における教職員の健康確保方法の整備
- ③ 在宅勤務における業務評価の整備
- ④ 学内での勤務における3密を回避するための環境整備
- ⑤ 在宅勤務や時差勤務、ローテーション出勤でも業務に対応できる業務分掌
- ⑥ 在宅勤務や時差出勤、ローテーション出勤でも業務に対応できる人員の増
- ⑦ 適切な手当の支給
- ⑧ 法人全体の経常的な経費の増
- ⑨ その他



全大教新聞

2020年10月10日

第376号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
(略称・全大教)



【PDF版 (全面カラー)】
http://zendaikyoo.or.jp/?page_id=107

【電話】 03-6802-4250

【HP】 <http://zendaikyoo.or.jp/>

【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル2階

* 組合員の購読料は組合費に含まれています (一部30円)

今月の紙面

- ② 第3回附属学校交流集会 (9月13日)
- ② 「非常勤職員労働条件調査」協力お礼します
- ② 「全大教からのお知らせ」第33回定期大会 (9月24日)
- ③ 職場のQ&A ⑧ 運営費交付金と人件費の問題
- ③ 「コロナで食糧に事欠く学生たちに食糧支援」
島根大学教授 西崎 緑
- ④ 単組からのレポート
「全大教執行部のお知恵を拝借して」
和歌山大学「コロナ禍で浮き彫りになつてきた諸問題の解決をめざして」
わたしもひこ